

**製品名: セプチン7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17744**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SEPT7
別名	SEPT7; CDC10; Septin-7; CDC10 protein homolog
遺伝子 ID	989.0
SwissProt ID	Q16181
免疫原	抗血清はヒト SEPT7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 350-399

**背景**

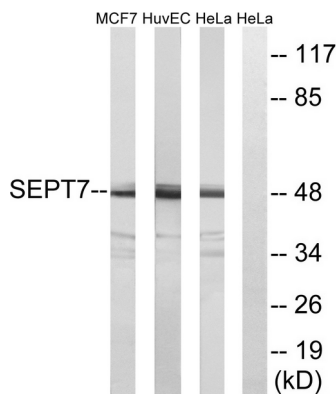
セプチン7 (SEPT7) ホモサピエンス この遺伝子は、サッカロミセス・セレビスエの CDC10 タンパク質と非常に類似したタンパク質をコードしています。このタンパク質は、ショウジョウバエの Diff6 およびマウスの H5 とも相同性があります。酵母 CDC10 を含む

これらの類似タンパク質はいずれも GTP 結合モチーフを含んでいます。酵母 CDC10 タンパク質は、細胞膜内部に存在する 10nm のフィラメントの構成成分であり、細胞質分裂に不可欠です。このヒトタンパク質は、神経膠腫の形成および神経膠腫細胞の増殖抑制に機能し、セントロメア関連タンパク質 E と動原体との結合に必要です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する疑似遺伝子が 5 番、7 番、9 番、10 番、11 番、14 番、17 番、19 番染色体上にいくつか同定されている。[RefSeq 提供、2011 年 7 月]、機能:有糸分裂の正常な進行に必要。細胞質分裂に関与。CENPE と動原体の正常な結合に必要。、類似性:セプチンファミリーに属する。、細胞内局在:前中期細胞では細胞質全体に分布。中期には紡錘体に関連。後期細胞では中心紡錘体および分裂溝に関連。終期には中央小体で検出される。、サブユニット:SEPT2、SEPT6、SEPT7 をそれぞれ 1 つずつ含む 2 つのヘテロ三量体からなるヘテロ六量体。非対称ヘテロ三量体は頭と頭が結合して六量体を形成し、フィラメントを形成します。CENPE と直接相互作用し、CENPE を SEPT2、SEPT6、SEPT7 からなるセプチンフィラメントに結合させます。

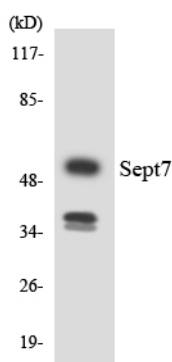
## 研究分野

タグとセルマーカー

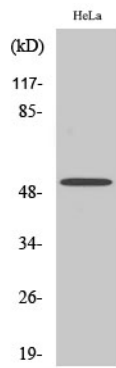
## 画像データ



SEPT7 抗体を用いた HeLa 細胞、HUVEC 細胞、MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SEPT7 抗体を使用した HUVEC 細胞からの溶解物のウェスタンブロット分析。



セプチン7ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析